

2年生は中学校の中核学年
～学習・生活・諸活動を
充実させよう～



森町立旭が丘中学校第2学年
学年通信 第29号
令和3年 1月5日(火)
文責：太田 慎也(学年主任)

新年明けましておめでとうございます



令和3年が始まりました。身を切るような寒さの中での年末年始となりましたが、有意義に過ごすことができたでしょうか。

さて、今日から始まった51日間の3学期は、「2年生のまとめの期間」です。4月からの生活や学習を振り返ったり、様々な場面で感謝の気持ちを行動で示したりすることで、自己の成長を感じることができるとよいと思います。また、今年は進路について真剣に考えていかなければならない年になります。つまり、この3学期を「3年生に向けての準備期間」と捉えることもできます。その自覚をもった生活ができれば、4月からの最上級生としてのよいスタートにつながるはずです。目標を掲げ、気持ちを新たに一段と高い意識で生活していくことを期待しています。

【3学期の決意】

2年1組 佐々木菜未

最上級生となるまで残り3か月となりました。2年生3学期は3年生0学期とも言われます。つまり、最上級生となるための準備を今日から始めなければいけません。私は、その準備のために頑張らなければならないことを二つ考えました。

一つ目は部活動です。秋の新人戦は、2回戦敗退という結果でとても悔しく、実力が足りていないことを痛感しました。そのため、ネットやアウトが多い、狙ったコースに確実に打てないという課題を見付け、現在の練習では、その克服に向けて取り組んでいます。冬期の練習時間は短いですが、1日の練習の中でできなかったところを次の日にはできるようになるくらいの気持ちで一生懸命取り組みたいと思っています。家での自主練にも力を入れ、春の大会に向けて自信を付けていきたいです。技術的な面だけでなく、挨拶や声出し、礼儀など、基本的なことがどんな時でもできるようにしたいです。

二つ目は勉強です。私は、去年の12月から始まった自習室を、毎日やるのは大変だと思っていました。しかし、実際にやってみると、1年生に学習したことを思い出したり自分が理解できていないことを再確認したりできることを実感しています。1年後「あの時もっとしっかりやっておけばよかった」と後悔することがないように、苦手な問題や分からなかった問題は、繰り返し取り組むようにしたいです。

1組の学級目標の大きな柱である「当たり前のことを当たり前に行う」ことを継続するとともに、学級の仲間と過ごせる残りわずかな時間を楽しみたいと思います。

【部活動での活躍】

- 西部中学校新人野球磐田大会 準優勝(武蔵島練、増井俊介、村松健太、渡辺湊詩)
- 磐周地区中学校新人陸上競技大会

男子共通砲丸投 第1位 中島 陣

男子共通110mH 第4位 清水颯馬

女子共通走高跳 第2位 一木悠花

男子共通400m 第2位 山本凱斗

女子共通100mH 第5位 袴田 萌

女子共通走高跳 第5位 池田 優

